

七生福祉園だより



第 262 号 平成 30 年 6 月 17 日

しんねんど むか 新年度を迎えて

七生福祉園は、児童施設と成人施設を併せて約 300 名の利用者の方々が生活する東京都の施設です。園の運営は、東京都社会福祉事業団が、東京都から指定管理者としての指定を受けて行い、4 月から 3 年間の新たな指定管理期間（第 5 期）が始まりました。

また、今年度からは、「部門長・グループリーダー制」による新しい組織体制のもと利用者の皆様一人ひとりの人格と個性を尊重し、個別の状況に応じた、よりきめ細かい支援を行うとともに、人材の確保・育成、権利擁護の取組強化、感染症・防災対策などのリスクマネジメントの徹底、暮らしやすい生活環境の整備などに重点的に取り組んでまいります。

今後とも、運営体制の充実強化を図りながら、職員一丸となって、利用者サービスの一層の向上に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【園長・多田菜穂】

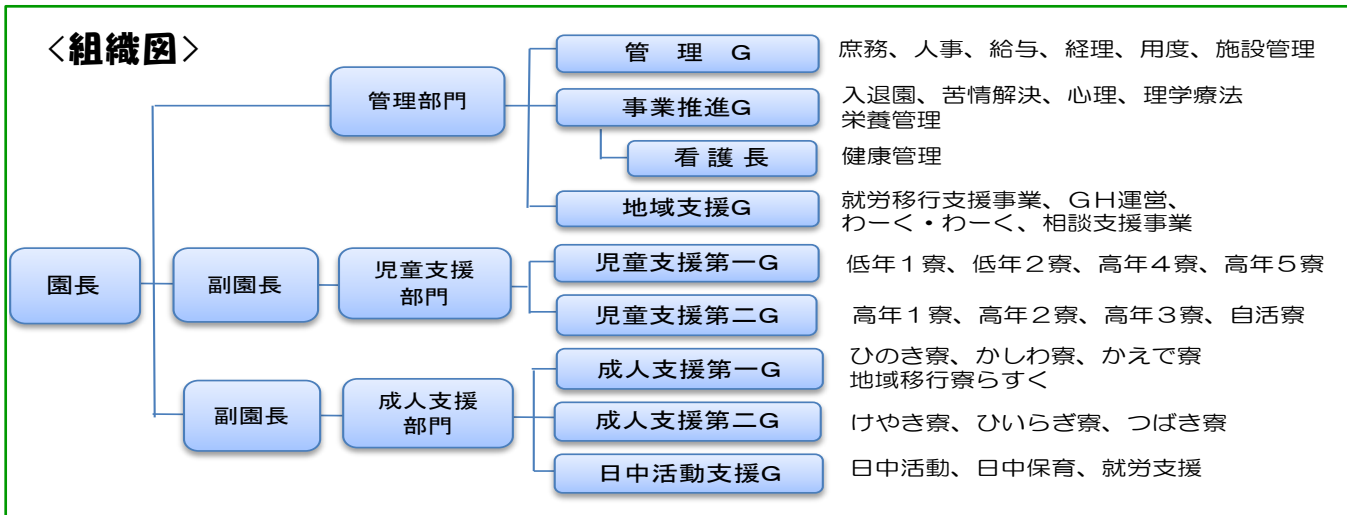
へいせい ねんど 平成 30 年度 うんえいほうしん 運営方針



利用者の皆様一人ひとりが安全で安心して生活を送ることができるよう、人権を尊重した支援や安全な生活環境の整備等を進めていきます。

- 利用者本位のサービスの徹底** ★ 入所支援計画・個別支援計画の充実を図り、利用者本位で、専門的、良質かつ適切なサービスを提供します。
- 公的な役割の強化** ★ 特別な支援が必要な利用者を積極的に受け入れるなど、都立施設が担ってきた公的な役割を強化します。
- 地域福祉の向上** ★ 地域の多様な主体と連携・協力し、地域福祉の向上に貢献します。
- 生活移行等の推進** ★ 障害者の地域における生活を支援するため、保護者や関係機関の理解と協力を得て、利用者の地域生活移行等に積極的に取り組みます。
- 運営体制の充実強化** ★ 人材育成、リスクマネジメントの徹底、生活環境の整備、施設の効率的な運営等に努め、運営体制の充実強化を図ります。

<組織図>



じんじいどう 人事異動

がっ ひづけ せいじんかちょう ながさわ てんしゆつ こうにん ふくえんちょう なかむら ちゃくにん
4月1日付で成人課長（長澤）が転出し、後任の副園長（中村）が着任しました。

せいじんしえんぶもん ふくえんちょう なかむら しんじ 成人支援部門 副園長 中村 真志

がっ せいじんしえんぶもん ふくえんちょう ちゃくにん なかむら もう
4月より成人支援部門の副園長に着任しました、中村と申します。

まえしよくば どうきょうと そうむきよくじんじが としよくいん じんじせいど みなお たんとく
前職場は東京都の総務局人事部で、都職員の人件制度の見直しなどを担当しておりました。障害者
しせつ きんむ こんかい ほじ ちゃくにんご げつ す かん しょういん りようしゃ みなさま
施設での勤務は今回が初めてとなります。着任後、2か月が過ぎましたが、この間、職員や利用者の皆様
えがお きさき すこ えん ふんいき な かん
の笑顔にも支えられながら、少しずつ園の雰囲気にも慣れてきました。

ひ つづ りようしゃ みなさま あんぜん あんしん えがお せいかつ しょういん がんば
引き続き、利用者の皆様が安全に、安心して笑顔で生活できるよう、職員とともに、頑張っていきたい
おも おも ねが いた
と思っています。どうぞよろしくお願い致します。



りよう しゆくほくりょこう かえで寮 宿泊旅行



がっ にち かりょう かい どうきょうと せいの せいじん 4名で千葉方面へバスで宿泊旅行に行ってきました。当日は、あい
にくの空模様でしたが、そんなことにはめげず、みんな元気一杯！1日目はバスで「マザー牧場」へと向
かいました。羊のショーの見学をはじめ、たくさんの動物にも触れあうことができました。お楽しみ
ちゆうしよく
の昼食は、ジンギスカンのバーベキュー。お肉やお野菜をお腹いっぱい食べることができました。

ひ やど しょうろうおんせん わふうりょかん つか からだ おんせん いや ゆうしよく ぼうそう うみ やま さち ころ
この日の宿は養老温泉にある和風旅館。疲れた体を温泉で癒し、夕食は房総の海・山の幸を心ゆくま
でたっぷり堪能しました。2日目は、天候にも恵まれました。「うみほたる」に立ち寄りそれぞれ思い思い
みやげ こうじゆう たの おも で とちも かえ
のお土産を購入して、楽しい思い出と共に帰ってきました。

とうきょうと なな おとくべつしえんがっこう りんどうかい 東京都七生特別支援学校運動会



がっ にち しょうがくぶ うんどうかい てんこう しんばい どうじつ せいてん
5月19日に小学部の運動会がありました。天候が心配でしたが当日は晴天に
めぐ うんどうかいびより りよう ふだん すがた なが ちやく きんちよう しょうす
恵まれ、運動会日和になりました。寮での普段の姿とは違い緊張している様子
でしたが、一生懸命な姿を見ることができました。練習した成果、昨年よりも
ひとまわ ふたまわ せいちよう すがた み かんどうてき うんどうかい
一回り、二回りも成長した姿を見ることができ感動的な運動会でした。



がっ にち ちゅうがくぶ こうとうぶ うんどうかい うんどうかいびより どうじつ
5月26日の中学部、高等部の運動会も運動会日和となった当日。
がくぶ がくねん なか かつやく じどう すがた み
それぞれの学部、学年の中でのびのびと活躍する児童の姿が見
ることができました。進級、進学を経て去年よりもさらに立派に
しんきゅう しんがく へ きよねん りっぱ
活躍する子どもたち。帰ってくると「悔しかった！」「楽しかった！」「来年も頑張る！」といろんな表情で振り返っていました。
がんば せん
頑張ったみんなに金メダル！！

にっちゅうほいく えんそく 日中保育 遠足

がっ にち いけぶくろ すいぞくかん えんそく い き えん
5月16日、池袋サンシャイン水族館へ遠足に行ってきました。園のマイク
の ロバスに乗って車内からは沢山の車を見ながら、子どもたちはとても楽しみに
の しやない たくさん くるま み たの
向かいました。水族館では色鮮やかな綺麗な魚、大きなエイやマンボウに驚
む すいぞくかん いろあざ きれい さかな おお
き、クラゲの水槽に目を奪われながら天井からのライトに両手を広げて喜ん
すいぞう め うぼ りようて ひろく よろこ
でいる姿も見られました。屋外エリアではペンギンが空を飛んでいるように見
すがた み おくがい そら と み
えたり、大きなアシカが優雅に泳いでいる姿を間近で見ることができました。
おお ゆうが おお すがた まじか み
昼食は児童調理の方々から早くより、とても素敵な
ちゆうしよく じどうちようり かたがた あさはや すてき
お弁当を作って下さり、子どもたちは「美味しいね。
べんとう つく くだ こ おい
ポテトがアンパンマンだ！」と大喜びで完食して
おおよろこ かんしよく
いました。



せいじんしえんぶもん はなみかい
成人支援部門 お花見会



4月4日、春の穏やかな陽気に包まれたなか、成人部門の新年度を迎えるにあたっての恒例行事であるお花見会がひいらぎ寮横の調整池にて行われました。今年は例年に比べ桜の開花が早く、桜吹雪舞うなかでの開催となりました。多田園長の乾杯の音頭から始まったお花見会。おいしいお弁当を食べ、食後は新入職員の方々から挨拶、自己紹介をしていただきました。

その後はみなさんお待ちかねのカラオケ大会♪一緒に歌ったり、手をたたいたりと思い思いに楽しい時間を過ごしました。



にっちゅうかつどうしえん かさいりんかいすいぞくえん いどうすいぞくかん じっし
日中活動支援グループ 葛西臨海水族園「移動水族館」の実施



5月22日、毎年好評だった移動水族館が今年も来てくれました。ふれあい体験コーナーでは、カニやヒトデ、ウニ、ナマコなど恐る恐る触る方や喜んで触る方等、成人の利用者の皆さんは大興奮でした。日中保育の子供たちは、「優しく触れば大丈夫だよ」と言いながら嬉しそうにカニやヤドカリに触れていました。うみくろ号は大型水槽二基を備え付けたカラフルなトラックで、車椅子の方でも身近に鑑賞できるようにスロープが備え付けてあり、皆さん安心して鑑賞することができました。



みつびし きんこう かつどう
三菱UFJ銀行のボランティア活動



5月22日・24日の二日間、三菱UFJ銀行の新任研修生5名を受け入れました。研修生は当園のいきいきプラザ班に参加し、二日目には研修生による「交流企画」の的当てゲームとビンゴ大会でとても盛り上がりました。研修生がチームワークで一糸懸念に考えてきてくれた企画は、普段見ることができない利用者の違う一面も見ることができ、笑顔と笑い声で溢れた活動でした。

★ありがとうございました★

しせつけんがく うけいれ
施設見学の受入れ



5月に明星大学と実践女子大学の学生の施設見学を受け入れました。障害者支援への理解を深めることを目的として授業の一環として来園されました。活動支援棟や寮を見学した後、「障害者施設で働くこと」をテーマに講義を行いました。学生からは「利用者からわかる時に一番大切にしていることは？」等、質問がありました。七生福祉園では、これからも地域の大学と連携・協力し、地域福祉の向上に努めます。



利用者の健康管理について



保健棟業務の大きな柱の一つに定期健康診断があります。

今年度の定期健康診断もすでに始まり、4～6月には内科検診が行われています。成人は内科嘱託医の水野医師、児童は小児科嘱託医の森久保医師が担当します。検診では尿検査、血圧測定、聴診、のど・目・耳の診察を行います。また、内科検診では夏のプール活動やシルバーグループ活動（理学療法士による運動）への参加の可否を医師に確認します。5月には胸部レントゲン検査が、続いて腸内細菌検査（検便）も終了しました。7月には生活習慣病検診、乳がん・子宮がん検診が予定されています。生活習慣病検診は協力医療機関である「百草の森ふれあいクリニック」の看護師、検査技師の方が来園し、保健棟で行います。生活習慣病検診の項目は採血、心電図と胃検診（ABC検診）です。検診で異常が見つかった場合は医療機関への受診につなげ、フォローアップを行います。9月には八南歯科医師会による歯科検診、10～11月は口腔保健センターの巡回歯科検診と治療が行われます。

利用者の高齢化が進む中、定期健康診断による病気の早期発見・早期治療は増々重要になっています。

「食中毒予防期間」



食中毒は一年を通して発生する危険がありますが、七生福祉園では、気温が高く特に注意が必要な6月から9月までを、毎年「食中毒予防強化期間」と定め、園全体をあげて食中毒予防のための取組を行っています。

今年も期間中に、利用者の皆様や寮職員への手洗い練習、調理施設や食堂での拭き取りによる細菌検査、ポスター掲示や園内放送を実施します。

また、保護者の皆様には、面会時の食品の持ち込みについて、ご遠慮いただくなどご協力もお願いしていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

これからも安全でおいしい食事をお届けするため、園全体での取組を充実させていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

竹の伐採ボランティアの活動紹介



日中活動支援グループでは、ふあーまーず班畑裏の竹林を管理しています。日野市ボランティア・センターにボランティア募集を依頼し、この4・5月に竹切りボランティア5名の協力を得ることができました。竹林の整備とともに、智剣班で竹のお守りを製作するときに使う竹の切断をお願いしました。ご覧のとおり、当初荒れていた場所もきれいに整備していただき、原材料の竹も年間に必要な本数を確保できました。職員だけではできなかったことが、短期間のうちにボランティアさんのおかげでできました。地域のボランティアの方の「力」と「優しさ」を再確認した活動でした。七生福祉園ではこれからも地域の方や関係機関と連携し、ボランティアの受入れに取り組みんでいきます。

智剣の材料& たけのこ↓



<整備前>



<ボランティア活動後>

